中日新聞（2018年2月26日付）
掲載記事は中日新聞社の許諾を得て転載しています。

走り方 楽しく学ぼう

美浜 日福大生が子ども指導

美浜町奥田の南知多おもちゃ王国で二十五日、同町の日本福祉大の学生が、子どもにスポーツの基本となる走り方を指導するイベントがあった。

日本福祉大の学生から教わりながらロープのはしごの上を走る子ども＝美浜町の南知多おもちゃ王国で

日本福祉大の植田真帆助教（四二）が講師を務めるカリキュラム「ふくしフィールドワーク実践」の一環。受講する一、三年生五人が子どもに楽しく走り方を学んでもらうため自らメニューを考案した。

この日は、来園した子どもらに呼び掛けて参加者を募集。芝生広場の地面に投げ輪やロープのはしごを置き、子どもたちに「ケンケンパ」やかに歩きをしてもらい、学生が「姿勢を良くして」「腕を大きく振るのがコツ」などと体の使い方を助言した。

植田助教は「子どもたちのおかげでイベントが盛り上がった。スポーツを楽しむだけでなく、どうすれば上達するかのコツを伝えられたら」と話した。

（小西数紀）

（許諾番号:20180308-20801）